

マケドニア人

シリーズ～福音となったイエス～

2026・6・7

エルサレム会議を終えて

- バルナバとパウロによる最初の宣教旅行
 - ユダヤ人の会堂(シナゴグ)を拠点に福音を語ったが、福音を受け入れたのは異邦人だった！
- 異邦人クリスチャンにもユダヤ人の律法を守らせるべきだと主張する人たち
 - アンティオキアまで下って来て教えていた
- エルサレムに集まりこの問題を協議した
 - 使徒たちや長老たちを交え議論する
 - 長老ヤコブ(イエスの弟)が「一切あなたがた(異邦人)に重荷を負わせない(律法を守らなくてよい)ことに決めました」と宣言した

再び宣教の旅へ

- 最初に訪れた町の教会を見に行こう

- 「パウロはバルナバに言った。『さあ、前に主の言葉を宣べ伝えたすべての町へもう一度行って兄弟たちを訪問し、どのようにしているかを見て来ようではないか。』」 15:36

- パウロとバルナバの衝突

- マルコは最初の宣教旅行の途中で帰ってしまった

- バルナバは連れて行きたいがパウロは嫌がった

- 「そこで、意見が激しく衝突し、彼らはずいに別行動をとるようになって、バルナバはマルコを連れてキプロス島へ向かって船出した」 15:39

順調な滑り出し

- パウロは前回福音を伝えた地域に行った
 - 「一方、パウロはシラスを選び、兄弟たちから主の恵みにゆだねられて、出発した。そして、シリア州やキリキア州を回って教会を力づけた。」15:40-41
- リストラでテモテが加わる
 - 「彼は、リストラとイコニオンの兄弟の間で評判の良い人であった。パウロは、この**テモテ**と一緒に連れて行きたかったので…」16:2-3
- 成長する教会
 - 「こうして、教会は信仰を強められ、日ごとに人数が増えていった。」16:4

聖霊が禁じる

- 聖霊に禁じられて方向を変える

- 「さて、彼らはアジア州で御言葉を語ることを聖霊から禁じられたので、フリギア・ガラテヤ地方を
通って行った。」16:6

- パウロたちは最初の宣教旅行で訪ねた地域に行こうとしたが聖霊が禁じた！

- イエスの霊が許さず、西進する

- 「ミシア地方の近くまで行き、ビティニア州に入ろうとしたが、イエスの霊がそれを許さなかった。」16:7

- 結局港町トロアスまで来ることに

- 「それで、ミシア地方を通してトロアスに下った。」8

聖霊が禁じる

- 聖霊に禁じられて方向を変える

- 「さて、彼らはアジア州で御言葉を語ることを聖霊から禁じられたので、パルティア地方や地方を
通って

- パルティア地方や地方を
通って

- イエ

- 「ミシア地方を
通ってアジア州に入ろう
としたが、イエスの霊がこれを許さなかった。」16:7

- 結局港町トロアスまで来ることに

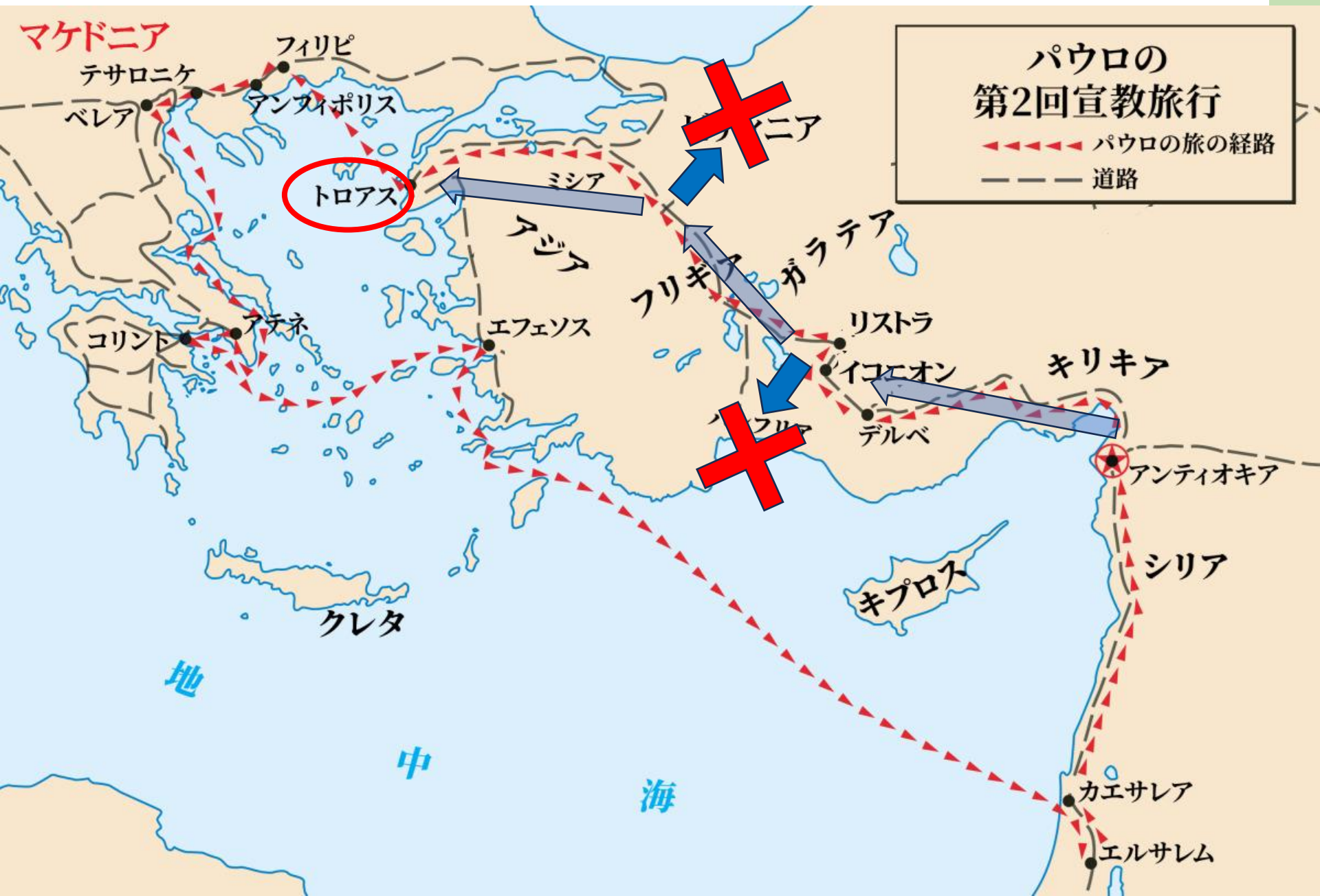
- 「それで、ミシア地方を
通ってトロアスに下った。」8

実際にどのような
方法で禁じられた
のだろうか？

マケドニア

パウロの 第2回宣教旅行

パウロの旅の経路
—— 道路



パウロ、マケドニアに渡る

•マケドニア人の幻を見る

- 「その夜、パウロは幻を見た。その中で一人のマケドニア人が立って、『マケドニア州に渡って来て、わたしたちを助けてください』と言ってパウロに願った。」16:9

•マケドニアに行くことを決定する

- 「パウロがこの幻を見たとき、わたしたちは**すぐに**マケドニアへ向けて出発することにした。**マケドニア人に福音を告げ知らせるために、神がわたしたちを召されているのだと、確信するに至った**からである。」16:10

パウロ、マケドニアに渡る

•マケドニア人の幻を見る

- 「その夜、パウロは幻を見た。その中で一人のマケドニア人が立って、『マケドニア州に渡って来て、わたしたちを助けてください。』とパウロに願った。」16:9

なぜ聖霊が2度も行く手を阻まれたのか、その理由が分かった

•マケドニアに行くこと

- 「パウロがこの幻を見たとき、わたしたちはすぐにマケドニアへ向けて出発することにした。マケドニア人に福音を告げ知らせるために、神がわたしたちを召されているのだと、確信するに至ったからである。」16:10



聖霊に導かれる

- 自分の**計画通り**には**いかない**こともある
 - 予想外の所に導かれる
- **ヒント**が与えられる
 - パウロのように明確な幻ではないかもしれないが、聖霊は心や思いに働きかけられる
- **すぐ**に行動する
 - 導きを感じたら躊躇せずすぐに行動する
- 福音はすべての人を「**助ける**」ことができる
 - 私たちに預けられている福音は究極の救いである